



## 製品情報



# 化粧品、パーソナルケア製品、ホームケア製品 ビデオジェットの付加価値マーキング によって、コストと製造工程での 煩雑さを軽減

## 技術的課題

多様な香りや色がある化粧品やパーソナル製品およびホームケア製品では、多くの場合、ロット単位でカスタマイズされた包装が求められます。その場合は、プレプリントされた包装材の在庫を大量に持たなくてはならず、またロット切り替え時に包装材料を毎回交換しなければならないので、生産ラインでの煩雑さが増大します。プレプリントされた包装材の管理にSKU管理の複雑さが加われば、製品に誤ったラベルが貼付されるリスクが増大し、結果としてブランドイメージの低下につながりかねません。

## ビデオジェットの長所

ビデオジェットの先進のマーキング技術で印字できるのは、日付やロット番号だけではありません。ビデオジェットの装置では可変データ、バーコード、ロゴ、画像など様々なコンテンツの印字が可能です。これらの機能は、色の番号、成分、JAN、DataMatrix、出荷用バーコード、アイコンの追加にくわえて、ブランド価値を高める包装カスタマイズにも最適です。例としては次のような用途が挙げられます。

- 製品包装に直接小文字用インクジェットプリンタによる印字またはレーザーマーキングを行う
- 外箱への印字にレーザーを使用する
- ラベルまたはシュリンクスリーブに熱転写サーマルプリントを行う
- 紙製バックやプリスター包装にサーマルインクジェットを使用する
- 出荷用ケースに大文字マーキングを行う

## プレプリントされた包装材の在庫管理には手間がかかります

ビデオジェットのデジタルマーキングソリューションにアップグレードすることで、プレプリントされた包装材の在庫コストと製造上の煩雑さを低減できます。

多くの化粧品、パーソナル製品およびホームケア製品では、さまざまな香りや色が使用されますが、それらは同じ工場の同じラインで製造される場合があります。通常は、異なる色または香りごとに別の包装を使用して、JANコード、色の名前やロゴなどの製品固有の可変データを印字する必要があります。また製品によっては、特別な使用方法、消費期限、成分などを記載する場合があります。さらに、出荷ケースやパレットでは、大きな文字、ロゴ、出荷バーコードの印字が必要になります。現在ではこのような情報の多くは、フィルム、ラベル、段ボール、外箱などにプレプリントされ、ロットごとに分けて製品に付加されます。この工程が存在することで、プレプリントされた包装材を製品ごとに保存・管理する必要があるため、製造に伴う廃棄物と煩雑さが発生します。

## コストの削減

ビデオジェットの先進のマーキング技術で印字できるのは、バッチやロットの情報や日付だけではなくありません。バーコード、色の名前、番号、ロゴ、成分をはじめ、さまざまな情報を印字できます。デジタルマーキング技術では、ほとんどあらゆる単色パターン、画像、またはテキストをインラインで印字できます。デジタルマーキングでは、あらゆる色や香りについて共通の包装を使用し、包装中に製品の可変情報が追加できます。つまり、各製品の色または香りの切り替え中に包装を交換または変更する必要がありません。包装変更の頻度が減ることで、切り替え時間が短縮され、オペレータがライン稼働を維持することに集中できるようになります。工場であらゆる包装SKUの数が減ることで、在庫削減によるフロアスペースの節約、大量購入割引引きによる包装コストの削減が実現します。包装をプレプリントする代わりにマーキング技術を活用することで、コストが削減できるとともに、プレプリントされた包装材の管理の手間がなくなります。

## 生産ラインでの煩雑さの軽減

付加価値マーキングによって、製造に関する柔軟性が向上します。ビデオジェットのデジタルプリンタを使用することで、製品に季節の行事に関するメッセージも簡単に追加でき、包装が新しくなったときに「パッケージが変わりました」などとスタンプできるようになります。成分の開示など法規制の変更への対応も、デジタルマーキングによって効率化されます。新しい包装を設計・発注することなく、操作が直感的なデジタルプリンタコントローラーインターフェイスですべての変更が行えます。それによって、廃棄しなければならない変更前のデータが印字された包装材、または誤った情報がプレプリントされた包装材の発生がなくなります。

## 付加価値マーケティングソリューション

ビデオジェットのマーケティング技術を使用して包装をカスタマイズする方法は多数ありますが、ここではその一部を取り上げます。

**製品包装に直接小文字用インクジェット印字またはレーザーマーキングを行う。**インクジェット印字とレーザーマーキング技術によって、ほとんどあらゆるタイプの製品包装に詳細な可変情報が直接印字できます。インクジェット印字およびレーザーマーキングシステムでは、ガラス、プラスチック、高級商品向け容器、柔らかい紙やプラスチック、金属製のスプレー缶などに印字できます。印字データとして、単純な2桁の色番号から製品のロゴや画像など複雑なものまでさまざまな内容が取り扱えます。これは化粧品、芳香剤、マニキュア液、染毛剤、香りつきの石鹸やローションなどでご活用いただけます。

**レーザーで外箱に印字。**レーザーマーキングシステムは、外箱の付加価値コーディングにも最適です。この技術は、RF信号を利用して、レーザーを増幅する媒質としては二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を使います。照射されるレーザー光が外箱の表面コーティングを除去し、下にある素材の明るい色を露出させるものです。このプロセスによってプレプリントと間違えられるほどに明瞭なマーキングまたは画像の印字が可能になります。レーザーではスキャン可能な2DおよびQRコードの高速印字ができるので、複数の包装タイプが作れることから、消費者の購買意欲を高めます。

**シュリンクスリーブやラベルで熱転写サーマルプリントを使用。**熱転写サーマルプリントは、高解像度のメッセージ(300dpi)をラベルやシュリンクスリーブにインラインで直接印字できる、費用対効果の高い方法です。熱転写サーマルプリンタは、日付、ロット番号、印字時刻などの可変データが生成できるデジタル技術です。用途例としては、JANの印字、リップグロスのシュリンクスリーブへの色の名前印字、そしてスプレークリーナーのフレキシブルフィルムへの印字などが挙げられます。熱転写サーマルプリンタは包装ラインに直接組み込めるため、簡単かつシームレスな製造プロセスを実現します。

**紙製バックやプリスター包装で熱転写サーマルインクジェットを使用する。**熱転写サーマルインクジェットは、費用対効果が高く、クリーンで使いやすいインク技術であり、紙製の包装に最適です。ビデオジェットの熱転写サーマルインクジェット技術では、長いデキャップ時間と短い乾燥時間の最適な組み合わせにより、ワニスを使用しない折りたたんだ木材小片製の箱や他の紙素材で理想的な仕上げを実現します。このようなプリンタでは、長期間印字を中断していた後でも質の高い印字(600dpi)が可能で、さまざまな用途向けの多目的インクが使用できます。最適な用途としては、化粧品に使用されるプリスター包装の背面や、消臭剤、あるいはその他小型のパーソナルおよびホームケア製品などが挙げられます。

**外箱に対する大文字インクジェット印字。**大文字インクジェット印字では、高い費用対効果で標準的な出荷用ダンボールがカスタマイズできます。これらのシステムによって、プレプリントされた出荷用ケースをカスタマイズすることや代替することができるので、そのまま小売で利用できるケースとして、製品の写真、バーコード、ロゴ、出荷情報などが印字できます。ケースをカスタマイズすることで、サプライチェーンの効率性が向上し、流通チャネルを通じて製品の履歴追跡が可能なソフトウェアシステムが確立できるようになります。



レーザー:外箱にバーコードを印字



インクジェット:プリスター包装にバーコードを印字



熱転写サーマルプリント:リップグロスのラベルに直接印字



熱転写サーマルインクジェット:紙製バック印字された二次元バーコード

## 最終収益

付加価値マーケティングを実現するビデオジェットのマーケティング技術を、インラインおよび現場で使用することで、次のことが可能になります。

- 共通の包装に対して、製品1個単位、またはロット単位で固有の情報を印字してカスタマイズ
- 切り替えの迅速化
- プレプリントされた包装材の在庫削減
- 柔軟性の高い製造

製品で付加価値マーケティングを活用するにはさまざまな方法があります。ビデオジェットはお客様が最適なソリューションを見つけるお手伝いをします。付加価値マーケティングがお客様のコスト削減と作業簡略化にどのように貢献できるかを経験豊富な営業スタッフがお知らせいたします。ビデオジェットは多様かつ高度なマーケティング技術と640種類を超える用途に合わせたフルイドと消耗品をご用意しており、お客様のパーソナルケア製品やホームケア製品に最適なマーケティングソリューションを提供します。

TEL: 0120-984-602  
E-mail: [info@videojet.co.jp](mailto:info@videojet.co.jp)  
URL: [www.videojet.co.jp](http://www.videojet.co.jp)

ビデオジェット社  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10  
テレコムセンタービル 西棟 6F

©2015 Videojet Japan— All rights reserved.

ビデオジェット・エクスライト株式会社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。20151016

